

# 共立女子大学文芸学部報

共立女子大学文芸学部報  
第132号  
発行日 2019年7月24日  
編集・発行 共立女子大学  
文芸学部  
〒101-8437  
東京都千代田区  
一ツ橋2-2-1  
発行責任者 深津謙一郎  
創刊 1968年12月  
題字 遠藤慎吾  
第二代会芸学部長

学部報に関するご意見・ご感想を以下のメールアドレスまでお寄せください。  
gakubuh@kyoritsu-wu.ac.jp  
学部報は共立女子大学公式HPの「文芸学部」のコーナーでもお読みいただけます。  
http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/

第132号 主目次

第1面	トップエッセイ 美の旅 大学随想
第2面	特集 「改元にあたり元号について考えてみた」 卒業生コラム
第3面	研究ノート 心象点描
第4面	各セクションから

(今号の一言)  
「大学が茫漠とした時間と孤独を与えてくれたことに感謝している。」(渡部)

### 大学随想

アニメになる前から有名だった児童文学作品は数あれど、「赤毛のアン」はその代表格である。孤児のアンは、持ち前の想像力という魔力のおかげで、マシューとマリ

# 作家と看板

## 大島 十二 愛

最近街歩きをしながら、老舗店の看板やロゴが気になる。とりわけ味わいのある手書き文字、その店や場所の歴史が垣間見えるものに惹かれる。なぜなら、手書きの文字は言葉以上にその人の思いや、人となりを想像させるからだ。老舗の看板は、私たちにその店の主人と作家、芸術家との豊かな交流の痕跡を示してくれる。

カレーで有名な新宿中村屋のロゴは、どこか親しみの湧く字体。かつて洋画家を志した書家、中村不折の手によるものだ。不折は夏目漱石から乞われて『吾輩は猫である』の初版本に挿絵を描いた人物としても知られる。

夏目漱石自身も岩波書店創業時に看板文字の「岩波書店」を揮毫している。二〇一六年に閉店した旧岩波ブックセンター時代、本購入時には銀色のビニール袋に入れてくれたものだ。そこに印字されていた「岩波書店」の独特な文字こそ、漱石の看板文字のプリントなのである。オリジナルの看板

文字は右から左に向かって書かれていたが、袋は左から右に並べ替えられ、横書き仕様で使われている。

○横浜馬車道「勝烈庵」  
昔NHKのドキュメンタリーで版画家・棟方志功が作品制作する姿を見た時の衝撃は、未だに忘れ難い。極度の近眼だった棟方は、版木に顔をすれすれに近づけながら、何かに憑依されたかのごとく一心不乱に描いては彫り、作品と対峙していた。幼心にもその尋常ならざる迫力は強烈かつ圧倒的なインパクトを遺した。

その棟方志功が懇意にしていた老舗のカツレス屋本店が横浜にある。その名も「勝烈庵」。店内の至る所に版画、絵皿、肉筆画、書など多数の棟方作品がセンス良く飾られており、来る客を目でも樂しませてくれる。店内二階にあがった階段踊り場に、大きく墨書された「無事」という立派な書がある。どっしりとして、おおらかなで、なんともいえぬ安心感を与えてくれる。そして店の入口にか

かる暖簾の商号「勝烈庵」の文字。どこか素朴で、それでいて芯の強さを感じさせるその字は、棟方の往時の人柄を偲ばせる。

○滋賀マキノ町「湖里庵」  
一九九二年に朝日新聞「家庭欄」に連載されていた遠藤周作のエッセイ「万華鏡」。当時中学三年だった私はその愛読者で、毎日曜日それを切り抜いてはスクラップしていた。同年九月二十七日付「忘れたい風景」の文章の一節に「湖里庵」が登場する。「湖里庵」はたのまれて私が見つけた店名で、夏は鮎、冬は鴨をたべさせる湖に面した奇麗な店である。——それを読んで以来、ぜひ一度訪れてみたいと思いつつ、数年の時が流れた。念願叶って家族で湖里庵へ出掛けると、確か五月の連休だった。

琵琶湖畔に佇む湖里庵は、二〇〇年以上の歴史をもつ老舗料亭「魚治」が経営する、一日一組の予約を受け付ける料理旅館である。名物は鮎すが、小鮎の甘露煮もまた、格別

の味いだ。私たちは昼食のみ予約して伺った。女将さんの案内で奥の座敷に通されると、湖畔に面した大きなガラス窓越しに、湖の青が目飛び込んでくる。どこまでも静寂で、思わず息をのむ美しい景色が広がる。床の間の掛け軸は遠藤直筆のもので、「湖里庵 平成二年 周作」と書かれている。

遠藤がユーモアエッセイを書く際のペンネームとして、「狐狸庵」の号を用いていたことはよく知られている。魚治が一九九〇年に改築して六代目主人が継承するにあたり、旅館の名を新たなものにしようと考えていた際、たびたびお店を訪れていた遠藤に頼んでつけてもらった名が「湖里庵」だ。いくつかの候補があったそうだが、「狐狸庵」遠藤と音が同じ店名を選んだのだという。遠藤が筆書きした掛け軸の静謐な字と、お店の雰囲気が見事に重なり合っていて、眺めているだけで気持ちが自然と安らぐ。

二〇一八年九月、西日本を直撃した台風二号は「湖里庵」全壊という最悪の爪痕を残した。その事実を知ったのは数か月経ってからのことだった。毎年届く、百貨店への催事出店案内はがきに、旅館の建物がほぼ全壊したこと、しかし旅館の近くの販売店舗「魚治」は無事であったこと、湖里庵再建を目指しながら、今年も佃煮などの販売を続けることなどが綴られていたのだ。もうあの場所はなくなくなってしまったのか——そう思うと、ショックだった。両親は応援の気持ちで伝えたいとすぐに催事場へ駆けつけた。

二〇一九年三月、「湖里庵」が



書き手の個性が光る商標いろいろ (写真コラージュ：筆者)

を構える創業一〇二年の画材屋である。月光荘の看板文字は、作家と謝野晶子の手によるもの。モダンでクラシカルな佇まいをみせるその文字は、銀座の街によく馴染む。店内で扱うすべてがこだわりの一品である。たとえば、「アン」はなぜほんとうのこととちがったことを想像するのだろうか。アンの境遇を考えると、ほんとうのこと不幸、ちがったこと幸福であり、想像とは不幸からの脱出手段なのか。しかし、物語の冒頭、アンは誰も自分を迎えてくれないのではないかと不幸な状況を想像している」と考えたりする。想像も思考も等しく脳で行う。

実学とか、手に職をつけるとか、大学教育においても実用が重んじられるご時世である。しかし、人間に生まれてきた以上、想像や思考から逃れることはできない。食事に誘った相手から「悪いけど今日は」と逃げられて、相手が口にしなかった理由をあれこれ想像してしまうのが人間である。文芸学部のみならず、恐れず、恥ずかしがらずに、思い切り想像の翼を広げましょう。想像のない創造はありえないのだから。

(中本恭平・教授・英語英米文学)



アマルフィ海岸沿いの町、Minoriにて (2008年7月 筆者撮影)

## 美の旅

### 浦野 郁

かつてイギリス留学中に、参加した学会で、イタリア人の友人が出来た。聞けば、美家は「世界一美しい」と言われるアマルフィ海岸にあるという。誘われるままに訪れて温かいもてなしを受け、碧い水に身を浸した。

時は流れ、いまや友人も私も姉妹の母になっている。いつか再訪して娘同士も会わせるのが夢だ。碧い海に、身も心も躍らせるだろう。

(准教授・英語英米文学)

# 特集

# 令和

## 改元にあたり 元号について考えてみた。

本年五月一日をもって元号が「平成」から「令和」に改められました。西暦などの無限に続く紀年法とは別に、元号という有限の紀年法を採る国は、今や日本くらいです。改元にもない、元号に対する賛否の議論が起きました。文芸学部でも文芸学部らしい視点から、一過性のお祭りにはせず、元号についてちよっと深く考えてみる特集を組んでみました。

### 元号と万葉集

遠藤耕太郎

二〇一九年四月一日、新しい元号が「令和」に決まった。「万葉集」巻五に収録の、大宰帥大伴旅人邸での梅の花をめでる宴で詠まれた三十二首の、漢文で書かれた序の、次の一部が典拠とされた。

初春令月、氣淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薰馥後之香  
 〈初春のよき月、気は美しく風は和らぎ、梅は美女が鏡の前で装う白粉のように白く咲き、蘭は腰につける匂い袋のように香っている。〉

六四五年に「大化」という元号が登場して以来、初めて日本の古典が典拠とされた。安倍首相は記者会見で、「万葉集」は「我が国の豊かな国民文化を象徴する国書」であり、「我が国の悠久の歴史、薫り高き文化、そして四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継いでいくべきだ」と述べ、「国家」を強調した。だが、この序はすべて漢文で書かれているし、そもそも漢字も元号も中国に由来する。また「令」も「和」も、六世紀の中国南朝の梁で編まれた詩文集『文選』に収められた、後漢の張衡の『帰田賦』の、「仲春の令月にして、時和らぎ気清く」を典拠としている。

「令和」の決定に伴って、『万葉集』は中国漢詩文を真似た歌集なのか、はたまた日本の「国書」なのかといった、狭小な近代国家観に根ざした騒ぎが起った。安倍カラーがこれに拍車をかけてもいたのだろう。しかしこうした騒ぎは『万葉集』の本質を見逃している。



た。無論令と零とは音が違う。最初の元号が建つに至った経緯は『史記』孝武本紀に見える。神仙を求める漢の武帝の姿が纏綿と描かれる中、突如、臣下の建白が紛れ込む。「年紀に数字を使うのは如何なものでございませう。奇瑞にちなんで呼びになつては。まず建元。彗星にちなんで次は元光。郊祭の重儀で一角獣を捕らえたので三番目は元狩です。」内容、文脈ともに謎めいている(武帝の方術好みに彩りを添える挿話であろうか)。由来が由来だ。元号が人を映す鏡になるのも、ある意味では当然なのかも知れない。

先回の改元に際しては各種システムの混乱が取りざたされた。その後、二〇〇〇年問題もあり、和暦、西暦ともにノウハウが蓄積されたのではないかと思っていたら、今回の改元でもやはり電算機の処理に支障が出る、和暦よりも西暦を優先するべきだという議論。電算機の処理に人間が合わせられないことながら、その不思議もさることながら、その電算機上の漢字の扱いをめぐって、ユニコードでは不十分である、異体字を網羅した書体を整備すべ

た。無令と零とは音が違う。最初の元号が建つに至った経緯は『史記』孝武本紀に見える。神仙を求める漢の武帝の姿が纏綿と描かれる中、突如、臣下の建白が紛れ込む。「年紀に数字を使うのは如何なものでございませう。奇瑞にちなんで呼びになつては。まず建元。彗星にちなんで次は元光。郊祭の重儀で一角獣を捕らえたので三番目は元狩です。」内容、文脈ともに謎めいている(武帝の方術好みに彩りを添える挿話であろうか)。由来が由来だ。元号が人を映す鏡になるのも、ある意味では当然なのかも知れない。

先回の改元に際しては各種システムの混乱が取りざたされた。その後、二〇〇〇年問題もあり、和暦、西暦ともにノウハウが蓄積されたのではないかと思っていたら、今回の改元でもやはり電算機の処理に支障が出る、和暦よりも西暦を優先するべきだという議論。電算機の処理に人間が合わせられないことながら、その不思議もさることながら、その電算機上の漢字の扱いをめぐって、ユニコードでは不十分である、異体字を網羅した書体を整備すべ

### 鑑／鏡

上野 慎也

元号の話をすると、ひととなりも顕れる。「令和」と書いて、パソコンと読む組合せ)を『文選』に見つけた大儒は、字面もそのままに屈託なく考案の次第を語った。その一方で令は零である、漢語の本場で「平和がない」と戸惑う声と言挙げする向きも目につい

足利義昭を追放した信長は、真つ先に改元を申し入れます。改元儀式を行うのは朝廷ですが、すぐに対応します。ゆつくり準備する朝廷には異例です。さらに驚くのは、新元号の候補を記した勅文を見た信長が「天正」を望んだことです。また、改元儀式の費用は信長が負担しました。まさに信長の信長による信長のための改元だったので、「天下を正す」天正は、信長にふさわしい年号です。

こうして歴史学界では、天正改元を信長による天皇権限の侵犯と評価していました。改元は官位任免・暦編成とともに、国家主権をほぼ喪失した天皇に最後まで残された権限だったからです。

しかし、ノーベル賞学者の言葉ではありませんが、定説を疑えます。実は改元の動きは二、三年前からあり、朝廷では改元奉行等の担当者が既に決まっていたから、すぐに改元できたのです。また、「天正」は前の改元の時にも候補になっていた。新元号の候補をあげる勅者は当時二人しかなく、その二人の年齢差は二〇歳以上ありまし

た。ペテランが今回イチ押ししの「天正」に決まるのは当然です。勅者のあげた候補を、信長も「いいね」した程度なのでしょう。信

長は改元儀式を待たずにさっさと出陣していますから、改元にそれほど思い入れがあったとも思えません。信長に天皇権限を侵犯して自覚はなかったでしょう。改元権は天皇固有の権限という議論の前提に問題があるようです。

武家政権の都合で改元されたのは、信長の時代に限りません。また改元に限らず、実質的には武

家(幕府)が決定し、それを形式的に整えるのが朝廷という国家運営方式は、鎌倉から幕末までずっと続きます。これを公武結合王権といえます。

### 18歳の選択

脇田静子



作家・五木寛之氏(中央)文芸講会の後で(司会担当の筆者(左))

私が共立に入学した昭和三十一年は、鳩山一郎内閣が、「もはや戦後ではない」と、経済白書で発表した年だった。軍人だった私の父は敗戦で多くを失い、高校生の私に言った。「人間、一生の間には何が起るかわからない。君は女だけれど、経済力を持つといい。それも好きな仕事をするといい」と。

私は、アナウンサーを志した。文芸学部は、特色のある新しい学部で、放送関係の講座もあり、当時、確か女子大で唯一の放送研究会があった。共立の建学の精神は、女性の自立と自活だった。

授業に胸が躍った。放研に入学し、休日には恵比寿にあった東京アナウンスアカデミーに通った。二年生になると、放研の先輩の紹介で、映画館で流す製薬会社のCMを録音した。思いがけず長期間、性の自立と自活だった。

授業に胸が躍った。放研に入学し、休日には恵比寿にあった東京アナウンスアカデミーに通った。二年生になると、放研の先輩の紹介で、映画館で流す製薬会社のCMを録音した。思いがけず長期間、性の自立と自活だった。

授業に胸が躍った。放研に入学し、休日には恵比寿にあった東京アナウンスアカデミーに通った。二年生になると、放研の先輩の紹介で、映画館で流す製薬会社のCMを録音した。思いがけず長期間、性の自立と自活だった。



### この年号いいね 改元記念日

堀 新

江戸時代までは、天皇代替わりだけでなく、武家政権の代替わりによる改元(代始改元)がありました。その一例として、室町幕府の滅亡時について述べましょう。元亀四年(一五七三)に將軍

### 改元と指導要領

林 幹夫

スタイリッシュな車の助手席からこちらに向かってニヤリとした声で「みなさんおげんきですか?」声の主は、CMに起用されるのはこのときがはじめてというので、放送前から話題になっていった井上陽水である。車は日産セフィーロ、キーワードは「くうねあそぶ」。このCMに異変が起こった。音声はBGMのみ。それなくしてはのニヤリとした声の「み〇さん……」が消えたのである。

昭和六十三年の秋以降、昭和天皇の体調悪化が報じられはじめ

る。世の中全体が「自粛」ムードにおおわれ、全国の多くの大学で学園祭が取り止めになった。天皇が大変だのに学生の収穫祭でもあるまい、と。ただ、皇居に程近い本学では例年どおり共立祭が開催された。この年の四月に文芸学部教員となり、学部報に共立祭の記事を書くという使命を負っていた筆者は、これを喜ぶべきか悲しむべきか。たしかに地味めの共立祭、その開催如何はこの事態にとつて何の障りにもならないということなのだから。

日産とはいえば、このCMから、ニヤリの声ならは「み〇さん」とも聞こえるセリフをカット、口パク・オンエアという形で自粛CMは別バージョンに切り替えられた。

現人神が、敗戦を境に象徴と

なり、国民にとって身近な存在と  
なった。少なくとも絶対者という  
ことではなくなっていた。そこへ  
この事態となり、連日連夜、関連  
報道のシャワーを浴びせられる中  
で、国民の意識は天皇の存在に集  
中させられることとなった。  
当初予定されていた新しい学  
習指導要領の発表は延期された  
が、この間も内閣総理大臣の下に  
設置された臨時教育審議会の答申  
内容に沿いながらの改訂作業は続  
けられた。そして昭和から平成へ、  
指導要領は「改元後初」のものな  
らではの特徴をもって登場した。  
それまでの「儀式などを行う場合  
には、国旗を掲揚し、国歌を斉唱

させることが望ましい。」を、「国  
旗を掲揚することにも、国歌を斉  
唱するよう指導するものとする。」  
としたのが象徴的である。  
そしてこの度、これからの学  
習指導要領への改訂作業は、天皇  
の生前退位の議論のさ中に進めら  
れ、平成から令和への改元をにら  
みながらの発表となった。目玉は  
「道徳の教科化」である。偶然だ  
ろうか。(教授・文芸メディア)

### 波に乗り損ねた

池上 公平

五月も半ばを過ぎ、過熱気味  
の改元騒ぎもようやく落ち着いて  
きたようである。明治以後、  
改元は天皇の死にともなう  
ものであったから、浮かれ  
てお祭り騒ぎなどほとんど  
なかった。その意味で、今  
回改元のお祭り騒ぎがで  
き

たのはとりあえず良いことであ  
った。ただ、個人的には改元は  
世の中を一新する  
ことになっていたら  
しいが、ぼーっとし  
ていたせいか、私に  
はまったくそうは思  
えなかった。いくら  
天皇とは言え、人  
人死んだくらいで世  
の中が根本的に変わ  
るわけがない。また、年配の人の  
中には昭和天皇は本当に神らしい  
ぞ、などと言う人もおり、あきれ  
て物が言えなかった。当時の違和  
感私が浦島太郎だったせいでも  
しれないが、その時波に乗り損ね  
た私は、平成が西暦何年なのかど  
うしてもいちいち計算しないとわ  
からず、わからないままに平成は  
終わってしまった。  
世の中はそう簡単には変わら  
ない。しかし全く変わらないこと  
もありえない。変化は地下深く、  
徐々に進行し、やがて巨大地震と  
なって露わになるように、ある時  
大きく変わってしまったことに気  
づくのである。改元の向こうで、  
今、日本でも世界でもそうした変



### ハルキくんの平成

阿部由香子

「やっぱハルキくんはいいよ  
ね」。ワンレングスの髪をかき上  
げなら大学三年の先輩が言った。  
平成元年四月。大学の教育学部国  
語科へ入学した年なので細かいこ  
とをいくつか記憶しているが、な  
ぜだか平成の初めというところ、ワ  
ン先輩のことを思い出す。  
当時の国語科生は一年時から  
好きな自主ゼミを選んで参加する  
ことになっていたので、私は近代  
文学のゼミを見学することにし

た。「明治文学」「大正文学」「昭  
和文学」の三つがあり(近代の先  
生が三人いたからという理由)、  
その日は「大正」に体験参加して  
みたところ、作品は村上春樹の短  
編小説「納屋を焼く」だった。  
「ノルウェイの森」が大ヒット  
した直後でもあり、十九歳の私も  
何作品かは読んでいたので、大学  
生はどれだけ村上春樹のことを熱  
く語るのだろうとドキドキしながら  
パイプ椅子に座っていた。  
しかし、先輩の発表はひたすら  
「語り手」の分析をするのみ。当  
時私が心奪われるような内容で  
はなかった。それでいて「これが  
大学の勉強だから覚えておきな  
さい」といわんばかりの威圧感。幻  
滅して怒りさえ覚えてきた私は、  
最後に感想を求められたときに  
「文学を勉強することがこんなに  
つまらないことだとは思っていま  
せんでした。もう来ません。」と  
答えてしまった。室温を氷点下30  
度くらいに下げたかと思われる。  
その時、隅っこにいたワンレ  
ン先輩が「ハルキくんはいいよね」  
とけだるい感じで言ってくれたの

だった。「ハルキくん」て呼んじ  
やうんだ、と思いつながらワンレ  
ン先輩だけはかっこよくみえた。  
それから三十年。村上春樹  
の仕事も評価も文学研究も平成の  
三十年間で大きく変わった。蜷川  
幸雄演出の舞台化なども考えもしな  
かった。ただ元号で区切って研究  
することにあまり意味を感じない  
でいたが、村上春樹を「平成」に  
位置付けることはしっくりくるよ  
うな気がする。不思議なものであ  
る。(教授・劇芸術)



五月も半ばを過ぎ、過熱気味  
の改元騒ぎもようやく落ち着いて  
きたようである。明治以後、  
改元は天皇の死にともなう  
ものであったから、浮かれ  
てお祭り騒ぎなどほとんど  
なかった。その意味で、今  
回改元のお祭り騒ぎがで  
き

### アスリートへの ソーシャルサポート

片上 絵梨子

「周りからのサポートがあつて  
いまの自分がある」。目標を達成  
した場面において、競技生活の中  
で得られた周囲の他者からの様々  
な形の支援について言及するアス  
リートは多い。  
心理学では、このような周囲  
の他者からの有形・無形の支援は  
総称してソーシャルサポートと呼  
ばれている。私の研究分野である  
スポーツ心理学は、心理学の理論  
や手法を生かして、スポーツ現場  
における人の心と行動について理  
解しようとする学問であり、私は

これまでアントラージュ(コーチ  
やチームスタッフなど周囲の他者  
の総称)のソーシャルサポートが  
アスリートの心理面に与える影響  
について研究してきた。  
アスリートにとってのソシ  
ヤルサポートは、励ますこと・慰  
めること、賞賛や承認をすること、  
助言やアドバイスを提供すること  
と、金銭や必要な用具などを提供  
することの四種類に分類される。  
ソーシャルサポートは、アスリ  
ートの競技力向上のみならず競技  
内外におけるストレス緩和やバー

近年明らかになった女子柔道  
界や女子レスリング界におけるハ  
ラスメント問題、様々な競技団体  
における体罰・暴力問題など、日  
本のスポーツ界全体において、ア  
スリートを取り巻く周囲の他者  
の在り方やアスリートへの関わり  
が問われている現状にある。  
二〇二〇年の東京オリンピック・  
パラリンピックに向けてスポーツ  
やタイミング、提供者が誰である  
かによってサポート機能を果たさ  
ない場合もある。サポートする側  
の指導者が良かれと思つて実行し  
ている支援的行動であっても、ア  
スリートのニーズに合わない場合  
には、サポートではなく、余計な  
お世話になってしまう可能性がある  
。

こうした実践内容の一部を「健康ス  
ポーツ実習」など担当授業に取り  
入れ、スポーツメンタルトレーニ  
ングを援用したアクティビティや  
ワークを通して授業内のコミュニ  
ケーション促進や相互支援的な関  
係作りを目指している。また演習  
や卒業論では、スポーツや対人コミ  
ュニケーションに興味を持つ学生  
との議論を通して、スポーツ界で  
生じている事象やアスリートの在  
り方について考えているところで  
ある。(専任講師・文芸メディア)

### 心象点描

### 時間と孤独

渡部 直

四月から文芸メディアコース  
に鶴田拓哉先生が着任された。  
挨拶に伺うと優しく応対して下  
さり、物腰が柔らかく穏や  
かな先生の魅力に、私はす  
っかり癒されてしまった。  
同時に何だか懐かしい気持ち  
に駆られた。  
というのも、先生は、筑  
波大学の出身で私の先輩に  
あたり、現在もつくばに聞  
くところによると、私も学  
生時代に長く暮らした地区  
に「お住まいであるという  
話を伺ったからである。  
筑波大学に通う学生の多  
くは、大学から自転車で一〇分  
圏内のアパートか大学宿舎に住  
んでいて、電車で通学してくる  
学生は稀である。  
私が暮らした地区は、開学当  
初からの古いアパートが残って  
いた。当時、家賃月一万八千円、  
六畳一間で共同浴室という物件  
だった。共同浴室と言っても、



大浴場といった風情のあるもので  
はなく、家庭サイズの浴室が離れ  
てポツンとあるだけで、誰でも勝  
手に出入り出来た。そのため、全  
く知らない外国人と鉢合わせるこ  
ともあった。アパートは田んぼの  
近くにあり、田植えの季節は蛙の  
声で眠れないほどであった。  
大学は構内をバスが走っている  
くらいなので、土地と緑は嫌とい  
う程であった。私は毎朝ぶらぶら  
と歩いている。表現に  
たことに感謝している。表現に  
ついて語り合うことのできる仲  
間を得たことは、言うまでもな  
く素晴らしい出来事であった。  
しかし作品制作も研究  
も、その行為は結局一人で  
向かうものである。夜中に  
大学の緑道を歩きながら作  
品や研究について思案した  
時間がどれほど重要なもの  
であったか、今は分かるよ  
うな気がする。  
共立のスタイリッシュな  
校舎に出入りする度に実は  
今だに緊張しているのだ  
が、私が母校に対するよう  
に、共立生OGはこの校舎  
に、誤解の無きよう、補足したい。  
(専任講師・造形芸術)  
挿画・柳瀬茉莉子

# コースから

## 日本語日本文学

今年度より日本語日本文学研究室の助手となりました、杉本千穂と申します。今年の三月に文芸学部を卒業したばかりで、視点や感覚も学生の皆さんと近いと思えます。研究室に来て、ぜひ気軽に声をかけください。

さて、四年生になると卒業論文という壁に出くわしますよね。私もこの存在に苦しめられた一人です。提出締切間近にヒーヒー言っていたのも記憶に新しいです。

日本文学卒業論文という、文学作品や語学など題材が難しい感じがしませんか？確かに難しいのですが、テーマ次第ではなかなか面白い資料も扱えるのです！私が所属していたのは語学のゼミでした。談話を資料として扱ったので、一日中録画したテレビ番組を観ていましたが、ゼミ生の中には漫画やロックバンド、ツイッターをテーマに卒業論文を執筆する人もいました。いずれも卒業論文に必要不可欠な「資料」なので

この文章を書いているのは五月の連休真っ只中で、ラジオから流れる交通情報(新幹線や高速道路の混雑ぶり)を耳にしながらか、もう二十年以上も前、高校の教壇に初めて立ったときに扱った丸山眞男の「である」と「と」と「する」と「こと」という文章を思い出しました。

## 学部長から

丸山眞男は徹底的な近代主義者で、政治や経済の分野では「する」ことに基づく成果主義的な価値観の重要性を説きながら、いっぽうで、精神活動においては、「休止」が生きた意味を持つと主張し、休日時間、「休止」する贅沢も存分にこぞってレジャーする風潮を嘆きます。正直に言って、当時の私

決して遊んでいたわけではありませんが、「やっていて楽しい」という気持ちも大きかったです。ぜひ皆さんも楽しいと思える内容で、四年間の集大成をしてください。(助手・杉本)

## 英語英米文学

この四月より助手に着手しました奥山と申します。私は二年前に英語英米文学コースを卒業し、今回一緒に助手に着手した御子貝さん

とは同じ卒業生の同級生でした。卒業してからは特に連絡を取り合うこともなかったため、不思議なめぐり合わせもあるものだなあと感じていました。せっかく一緒に働けることになりましたので、この出会いを大切に

私共が英語英米文学コースに入ったのは、本、特に海外の児童文学作品が大好きで、もっとたくさん本に触れたいと思ったからでした。大学時代の四年間は自分のやりたいことに没頭したり、やりたいことを見つけたりするのにびったりだと思えますし、同じ趣味を持つ友人との出会いで自分の世界も

私は、「休止」の価値が分からないまま、この教材を教えていたのですが、今になってみると、それは怠けることでは決してなく、「する」ことの価値から解放されて、自分に向き合うための贅沢な時間であることがよく分かります。

皆さんがこの文章を読んでいる。今、はもうすぐ夏休みで、休み中にすべきことをあれこれ思い描いていて暮らしているなかに」という標語です。

## 司書課程から

図書館記念日は、今日の図書館(プログラム)が行われていたの発展に大きな影響を与えています。図書館に行き実際に体験してみたいかがでしょうか。(准教授・鶴田)

広がったと感じています。せっかく同じ志を持った仲間がコースに集まっているのですから、一緒に学び、少しでも有意義な学生生活を送れるようにしてください。まだまだではありますが、私も皆さんの学生生活が少しでも豊かになるよう尽力しますので、どうぞよろしくお願ひ致します。(助手・奥山)

## フランス語フランス文学

七月にフランス文化を知るイベントが催されました。フランス革命記念日を祝うパリア祭と、仏文研究室企画・総文研主催の「ヌーヴェルヴァーグの女優たち」展示会です。

1950、60年代に流行したフランス映画の革新的な動向「ヌーヴェルヴァーグ」をテーマに、スタジオアルクールパリからお借りした女優のポートレート写真と、映画ポスターを展示しました。

さらに、展示と関連した講演会・映画上映会も実施されました。講演会は、仏文コースの滝沢明子先生の「映画と写真からみる女性表象」、映画上映会は、ゴ

私は、図書館を身近に感じる機会を積極的に作ることに、授業内容の理解を深めるほかに、現場で働くときにも役立つと考えています。私の考えをサポートしてくれるのが、四月三十日の図書館記念日と、図書館振興の月である五月をPRするポスターに書かれた「図書館をもっと身近に暮らしたいなかに」という標語です。

クール監督の「女は女である」でした。ゴダール唯一のミュージカルコメディで、ミシェル・ルグランのポップな音楽と、トリコロルと同じ青白赤の衣装をまとったアンナ・カーリーナの可愛らしさが相まって、なんとも幸福な作品でした。

実は助手室にも貸出し可能な、ヌーヴェルヴァーグ映画作品のDVDがあります。展示を見て興味を持った方は、ぜひ手に取ってみてください。(助手・井野元)

## 劇芸術

劇芸術研究室には、お宝の眠る秘密の部屋がある。3号館の3階の奥に続く細い廊下を抜け、突き当りのドアを開けると、階段に出る。その階段を一番上まで登り、目の前にあるドアを開ければ、そこは膨大なお宝が眠る部屋なのだ。

劇芸術研究室には、奇贈された膨大な資料がある。戦前から現在に至る、ありとあらゆる演劇のポスター、プログラム、プロマイド、チケットの半券、新聞の切り抜き、映像資料、日本を代表する劇団、劇場の資料なら何か

私事になりますが、平成の最後に犬を失いました。クリーム色の雑種の中型犬で、一五歳でした。私がまだ造形芸術コースの学生だった頃から彼の絵を描いていて、卒業制作も、今手掛けている作品も、全て彼がモデルです。私のミュージズであり、良き友人(犬)でした。

## 造形芸術

描きたいものは人それぞれですが、私は自分が見ていて心地良いい、安心できるものを描きたかった。それがふわふわと眠っているクリーム色の犬でした。

この資料室を管理し、資料の整理をしてくださっているのはOGネットワークの方々、我々の先輩なのである。先輩方は毎週火曜日

文芸学部 日本語日本文学コース 卑弥呼賞 植村由夏

## 文芸学部

日本語日本文学コース さくら賞 河合詩穂(文芸)

英語英米文学コース ひばり賞 廣田真衣・山本麻乃

フランス語フランス文学コース マリアンヌ賞 酒匂聡美

文芸教養コース 文教賞 今村美沙・尾形佳南

造形芸術コース プリマヴェーラ賞 佐々木涼花(論文)・谷本美咲(絵画)

## 平成30年度 卒業生受賞者一覧

描きたいものは人それぞれですが、私は自分が見ていて心地良いい、安心できるものを描きたかった。それがふわふわと眠っているクリーム色の犬でした。

この資料室を管理し、資料の整理をしてくださっているのはOGネットワークの方々、我々の先輩なのである。先輩方は毎週火曜日

劇芸術研究室には、お宝の眠る秘密の部屋がある。3号館の3階の奥に続く細い廊下を抜け、突き当りのドアを開けると、階段に出る。その階段を一番上まで登り、目の前にあるドアを開ければ、そこは膨大なお宝が眠る部屋なのだ。

私事になりますが、平成の最後に犬を失いました。クリーム色の雑種の中型犬で、一五歳でした。私がまだ造形芸術コースの学生だった頃から彼の絵を描いていて、卒業制作も、今手掛けている作品も、全て彼がモデルです。私のミュージズであり、良き友人(犬)でした。

文芸学部 日本語日本文学コース さくら賞 河合詩穂(文芸)

英語英米文学コース ひばり賞 廣田真衣・山本麻乃

フランス語フランス文学コース マリアンヌ賞 酒匂聡美

文芸教養コース 文教賞 今村美沙・尾形佳南

造形芸術コース プリマヴェーラ賞 佐々木涼花(論文)・谷本美咲(絵画)

これは私自身の声でもあったりしますが、まあ、大丈夫でしょう。あえて私の全く知らないところで勝手に応募するという、律儀なところが彼女にはありますから。

ただ、当時のゼミ生には彼女を含めて三人の、今時珍しい文学少女がいて、それも揃って体育会系の文学好き、つまり、いわゆる無頼派気質だったことを考えると再び、大丈夫かあ、という声がかかってくるのですが、二人が今では大企業

この年からモチーフ選びをする学年の人たちは、自分が表現したいことに対して何が一番適しているのか、自分の言葉で考えてみてください。皆さんの作品をとてもしみにしています。(助手・鈴木)

文芸教養コースの新人助手、西村さんを紹介いたします。彼女はかつて私のゼミ生で、と聞くところから、大丈夫かあ、という声がかかってくるのですが、そして、そこ

文芸学部 日本語日本文学コース さくら賞 河合詩穂(文芸)

英語英米文学コース ひばり賞 廣田真衣・山本麻乃

フランス語フランス文学コース マリアンヌ賞 酒匂聡美

文芸教養コース 文教賞 今村美沙・尾形佳南

造形芸術コース プリマヴェーラ賞 佐々木涼花(論文)・谷本美咲(絵画)

カ月が過ぎました。今年度着任した私にとっては、五月に「平成」から「令和」へと元号が変わったこともあって、もう一度新年度が始まったような気がしています。

文芸メディア演習IおよびIIの各科目の概要を眺めると、扱われているテーマがバラエティーに富んでいることがわかります。皆さんにとって、さまざまな観点からメディアについて学ぶことができ

今年度から文芸教養コースの助手に就任しました西村彩と申します。私は村上先生に頂いたご紹介ほど文学少女でも、まして無頼派でもありませんが、大学で働くことは小さな夢の一つでしたので、先生方や学生たちのために精一杯働きたいと思っています。至らぬ点ばかりかと存じますが、何卒宜しくお願い致します。(助手・西村)

文芸教養コースの新人助手、西村さんを紹介いたします。彼女はかつて私のゼミ生で、と聞くところから、大丈夫かあ、という声がかかってくるのですが、そして、そこ

この第132号は、特集にちなんで言えば、「令和初」！の学部報ということになります。だから何？ですが、どうも日本人は、縁起かつぎか、初物・新物が好きなのですよ。とはいえ、早くも気になるのは、この元号がどれだけ続くのか、です。まあ、この学部報もですけどね。

特集面にちりばめられた、さまざまな書体の「令和」。「書道」の非常勤講師で、書家の佐藤かつみ先生に書いていただきました。この場を借りて、あつく御礼申し上げます。(半沢)

## 編集後記

この第132号は、特集にちなんで言えば、「令和初」！の学部報ということになります。だから何？ですが、どうも日本人は、縁起かつぎか、初物・新物が好きなのですよ。とはいえ、早くも気になるのは、この元号がどれだけ続くのか、です。まあ、この学部報もですけどね。